

第2期県立高校将来構想の概要

第1章 第2期県立高校将来構想の策定について

1 策定の趣旨

中学校卒業生数が継続的に減少していく中、中長期的視点に立って本県高校教育の質の確保・向上を図るため、第2期県立高校将来構想を策定

2 構想の期間

平成27年度から平成36年度まで

第2章 高校教育をめぐる現状と課題について

1 県立高校を取り巻く状況の変化

【社会の変化】

知識基盤社会の到来や、グローバル化、高度情報化の進展等、教育を取り巻く社会の変化に対応するため、柔軟な思考力や創造性をはじめ、応用・実践する力等を育成することが課題

【家庭・地域の変化】

都市化・過疎化や核家族化が進む中、学校と家庭・地域の三者が一体となり、教育内容や指導・支援体制の改善・充実、教育環境の整備などに取り組むことが課題

【教育をめぐる国の動き】

教育基本法等関係法令の改正や第2期教育振興基本計画の策定など、国の教育改革の動向等を捉えた上で、知・徳・体の調和のとれた教育や質の高い教育環境づくりを推進することが課題

2 県立高校の現状と課題

【生徒の多様化】

生徒の多様な進路希望や学習動機等の実態を踏まえ、生徒や保護者、地域のニーズに応える特色ある学校づくりや選択幅の広い柔軟な教育を推進することが必要

【生徒のニーズの多様化】

興味・関心、進路希望等に対応した教育内容の充実や指導方法の工夫・改善、多様な生徒のニーズに応える柔軟な教育システムの構築が課題

【中学校卒業生数の減少】

中学校卒業生数が継続的に減少していく中、一定の学校規模の確保をめざした再編整備を進め、選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開など、より質の高い高校教育を提供することが課題

第3章 今後の県立高校の在り方について

1 めざすべき県立高校像

(1) 県立高校像を考える視点

【生きる力の確実な育成に向けた教育の推進】

基礎的・基本的な知識・技能に加え、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」など生きる力を確実に育成

【社会の変化への対応】

社会が激しく変化する中、様々な課題の克服に向けて果敢にチャレンジし、「活力みなぎる山口県」の創造を担う、次代を拓くたくましい人材や地域活性化のリーダーとして活躍できる人材など、社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成

【生徒の多様化への対応】

生徒の多様なニーズに対応して、学校の個性化・多様化を図る教育活動を一層充実するとともに、選択幅の広い教育課程の編成など、柔軟な教育システムの構築を推進

【生徒減少への対応】

今後も中学校卒業生数の減少が見込まれる中、選択幅の広い教育の推進と活力ある教育活動の展開など、高校教育の質の確保・向上に向けた取組を進めることができるよう、一定の学校規模の確保をめざした再編整備を推進

【現行構想の成果と課題】

これまで、統合した学校においては、選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開など、魅力ある学校づくりが進む一方、再編整備実施校の中には、入学者数が募集定員に満たない学校があるなどの課題もあり、引き続き、学校の特色づくりと学校・学科の再編整備などを推進

(2) 基本的コンセプト（学校づくりの方向性）

質の高い高校教育を提供するため、次に示した基本的コンセプトで学校づくりを推進

- ◇生徒が夢を育み、志をもって学ぶ学校
- ◇生徒や教職員が生き生きと活動し、活力のある学校
- ◇地域に愛され、地域とともにある学校

2 教育活動の充実

(1) 確かな学力を育成する教育の充実

習熟度別指導や少人数指導、個別指導等、きめ細かな指導を充実するとともに、言語活動や探究活動など、多様な学習活動を推進

(2) 豊かな心を育む教育の充実

社会奉仕活動や就業体験等の体験活動を積極的に導入し、良好な人間関係を構築する力や、自省的な態度、自尊感情等を育成する教育活動を充実

(3) 健やかな体を育む教育の充実

各教科・科目、特別活動等における健康や安全に関する指導の充実や、運動部活動の活性化を図り、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育成

(4) 進路指導の充実

企業訪問やインターンシップ等をはじめとして、学校と家庭、地域、産業界等が連携した“オールやまぐち”でのキャリア教育を推進

(5) 生徒指導、相談・支援体制の充実

スクールカウンセラーを活用したカウンセリング体制の充実や個別の教育相談の実施など、問題行動や不登校の早期発見・早期対応に向けた生徒指導・教育相談体制の充実

(6) グローバル人材の育成

世界スカウトジャンボリーの開催を契機として、外国人とふれあう機会の創出や、県内大学で学ぶ留学生との積極的な交流を推進し、コミュニケーション能力等を育成する教育活動を充実

(7) ICT活用の推進

ICT機器を活用し、指導方法の工夫・改善を図るとともに、テレビ会議システムによる双方向型の授業の導入に努め学校間の連携や交流を支援し、教育の情報化を検討

3 教育環境の充実

(1) 教職員の資質能力の向上

「教職員人材育成基本方針」に示す「五つの基本方針」に基づき、教員の指導力を向上させる取組をより一層推進

(2) 学校運営の活性化

各学校における自己評価や学校関係者評価の充実を図るとともに、アンケート等を通して把握した保護者や地域の意見を学校運営に反映させる取組を推進

(3) 地域と連携した学校づくり

保護者や地域の声を学校運営に反映させるコミュニティ・スクールの高校への導入を検討するとともに、高校がもつ人的・物的な教育機能の地域社会への還元や、ボランティア活動など地域を活性化する取組、地域に貢献する取組を充実

(4) 安心・安全な学校づくり

事件・事故等の防止とともに、災害等の発生時の被害を最小限にするため、安心・安全な学校づくりの取組を総合的かつ効果的に実施

(5) その他

経済的理由により修学が困難な生徒に対して、引き続き、奨学金制度の周知・拡充を図るなど、修学支援の充実

第4章 特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備について

1 特色ある学校づくり

大学等への進学に重点を置く取組や高度な専門性をもった産業人材を育成する取組を充実するなど、拠点的な役割をもつ学校について、分散型都市構造にある本県の特長も考慮した配置を検討

(1) 全日制課程の方向性

【普通科系の学科】

大学等への進学に重点を置く取組を拠点となって進める高校について地域バランスを考慮した配置を検討するとともに、知識・技能を活用する学習や探究する学習を重視する新しい学科「探究科（仮称）」への改編も検討

【専門学科】

学科ごとに専門性をリードする高校の適切な配置や、実験・実習設備等の計画的な整備について検討

[農業に関する学科]

地域バランスを踏まえて拠点的な役割をもつ学校の配置を検討するとともに、他の農林業教育の機能を有する学校とのネットワークを構築し、県全体の農業教育を充実

[工業に関する学科]

再編整備により、多様な専門分野と専門性を追求することのできる工業教育の拠点的な役割をもつ学校を地域バランスに配慮しながら配置するよう検討

[商業に関する学科]

再編整備により、学校規模の拡大を図り、工業に関する学科など他の学科と連携した総合的・実践的な商業教育を推進

[水産に関する学科]

地域社会や産業界等と連携したプロジェクト学習やインターンシップなど体験的な学習を積極的に展開し、実践力が身に付く水産教育を推進

[家庭に関する学科]

地域産業との連携を図りながら、生活の質の向上をめざす実践的な学習活動や、

課題解決に取り組む学習活動を推進

[看護に関する学科]

医療施設だけでなく看護が実施されている様々な施設での実習や、医療職・福祉職などの社会人講師の積極的な活用等による教育活動の更なる充実

[福祉に関する学科]

幅広い教養と豊かな人間性を備えた質の高い介護福祉士を養成する福祉専攻科を設置

【総合学科】

学校設定科目や系列の見直しを図るとともに、進学指導を重視した教育活動を充実させるなど、更なる魅力づくりを推進

(2) 定時制・通信制課程の方向性

多様な学びのニーズに応える新しいタイプの多部制定時制課程の設置や、活力ある教育活動が展開できるよう、夜間定時制課程の再編統合について検討

(3) 中高一貫教育の推進

児童生徒や保護者・地域のニーズ等を考慮しながら、適正な定員配置や進学指導に重点を置いた中高一貫教育校の設置などを検討し、中高一貫教育を推進

2 学校・学科の再編整備

(1) 再編整備の必要性

高校教育の質の確保・向上を図るためには、一定の学校規模の確保をめざし、再編整備を進めることが必要

(2) 望ましい学校規模

開設科目数、配置教員数などから、1学年4学級から8学級

(3) 再編整備の進め方

中学校卒業生数の推移や分散型都市構造にある本県の実情等を踏まえ、年次的かつ計画的に実施

① 1学年3学級以下の小規模校の再編統合を基本として、望ましい学校規模の確保をめざし検討

② 1学年2学級の学校について、生徒の通学実態等から望ましい学校規模の確保をめざした近隣の学校との再編統合が困難な場合には、分校化を検討

③ 全日制課程を置く分校については、将来的に入学者が定員の二分の一を満たすことが見込まれない場合、募集停止を検討

④ こうした再編整備の実施にあたっては、高校教育の質の確保を図る観点や地理的条件、交通事情による生徒の教育への影響等を、総合的に勘案しながら検討

(4) 配慮事項

再編整備の対象校であっても、県全体の教育効果を高めることが特に期待される学校においては、当面は学校を維持することも検討

第5章 将来構想の推進について

1 地域社会との協働

教育活動の多様化とその質の向上のために、地域の教育力を積極的に活用しながら、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進

2 実施計画の策定

第2期県立高校将来構想を、今後、年次的・計画的に進めるため、特に、学校・学科の再編整備については、各学校の状況等を踏まえながら、実施計画を策定